

# 注文の多い大学

法学部長 ◆ 辻 秀典

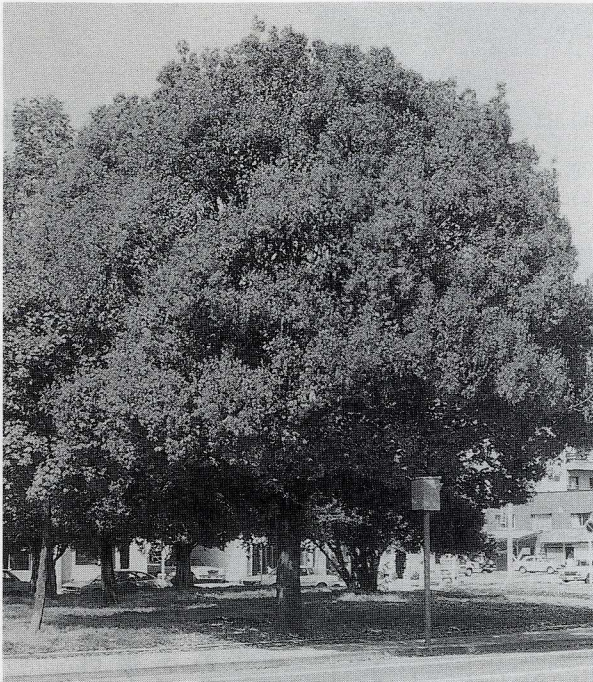


入学おめでとう。

長い受験勉強にたえ、ここまでやってきた君たちを心から祝福したい。

しかし、早速ながら注文がある。「ここで力を抜かないでほしい」。無理は承知である。完走したマラソン・ランナーにもう一度走れ、というのと同じくらい無茶な注文かも知れない。だが、時代は君たちにその無理なことを求めていると思う。

いま続いている不況は、どうも一過性のものではないようだ。経済、社会の大きな構造転換なしにはすまないよ



法学部のシンボル樹「シラカシ」

ローマの哲学者キケロは、カシの樹の下で法律について語った。君もこの樹の下で「法」について語りあおう。

認識を深め、生き方をさぐってほしい。そのために、青春のエネルギーと知的能力をふりしぼり、問題と格闘してほしい。そのとき、君たちは、受験勉強のときには経験できなかった興奮を覚え、学ぶことの意義を感じとるに違いない。

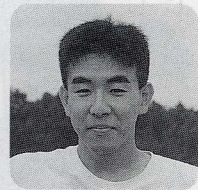
(つじ・ひでのり)

うに思われる。戦後日本のシンボルであつた「平和憲法」の改正も、現実の政治課題として登場してくるに違いない。世界について、その中の日本について、そしてそこで生きていく君たち自身について、よく知り、よく考え、将来の方向を定めるときが来ている。

君たちには、余りぞつとしない話かもしれない。しかし、遊んでおればよい就職口が待っているというところは、これからは期待しない方がよからう。知的、精神的に大いに自分を鍛える必要がある。「世界の中の自分」について

## 君の好きなものは何なのか

法学部学生 ◆ 平木 研次



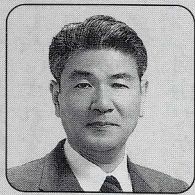
法学部に入学したころ、自分が本当に好きなものは何かを必死になって探していた。

新入生のみんなはどうだろうか。

傍目にはくだらないと思われることでもいいから、本当に好きなものを見つけ、それに向かって一心不乱になる。この思いこそ、素晴らしい学生時代にするための秘訣だと信じる。

## 将来への布石を

経済学部長 ◆ 佐野 進策



経済学部に入学的の諸君、入学おめでとう。諸君にとって最も関心のある「経済学とは何か」等については、新入生のための「経済学概論」や、本年度から新たに開講することになった「現代経済入門」「経済学基礎演習」と

いった授業での徹底したガイダンスを傾聴していただくこととして、ここではもう少し異なった観点から一、二点述べておきたい。

諸君は、広島大学経済学部を選択し入学したのであるが、恐らく、それは

大学では、自由な時間をたくさん確保することができる。だから、自分から行動しないと何も面白いことはないし、自分から心を開いていかないと何も面白いことは見えてこない。辛いときや苦しいときにも決して妥協することなく、思いのままに自分の可能性にかけてみてほしい。そして、新しい自分を発見してほしい。困ったときには、君の隣にいる仲間が、更なる力を与えてくれるはずである。

大学での生活はまだ始まったばかりである。だから、じっくりと自身を見つめ直してほしい。そして、そのときは君たちに問いかけてほしい。「君の好きなものは何なのか」と。

(ひらき・けんじ)

自分の意思で決めた最初の大きな選択ではなかったか、と思う。その意味でも、諸君はこの入学により、文字通りこれからの自分の人生の出发点に立つたと言える。

ところで、諸君はこれからの四年間を、どのように位置づけているのであろうか。私は、学生時代というのは人生におけるいくつかの重要なポイント(専門領域のみならず、体力、思想、情報処理能力を含む現代人として不可欠な技能など)に布石を打っておく時